

平成28年度発達障害児者支援開発事業 実施状況報告

都道府県等名 大阪市

1 実施期間 平成28年4月 ~ 平成29年3月

2 対象経費

企画・推進委員会	発達障害者支援モデル事業マネージャー	発達障害者支援モデル事業	合計(円)
143,688	4,970,744	9,894,910	15,009,342

3 企画・推進委員会実績

(1) 委員構成 8 名

	氏名	職業(役職)
委員長	里見 恵子	大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類 准教授
委員	田中 勝治	西宮すなご医療福祉センター院長
同	福田 啓子	大阪自閉症協会副会長
同	溝上 久美子	大阪 LD親の会「おたふく会」副代表
同	前野 哲哉	大阪市障がい者就業・生活支援センター 所長
同	岩崎 隆彦	大阪市障がい児・者施設連絡協議会(姫島こども園園長)
同	田中 政宏	大阪市こころの健康センター 所長
同	井上 芳子	大阪市発達障がい者支援センター所長

企画・推進委員会における会議資料等参考となる資料を添付すること

(2) 開催実績 2 回

	開催日	検討内容
第1回	平成28年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい者支援センター事業実施状況報告(27・28) 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況報告(27・28) 再構築事業(発達障がい者支援関係)実施状況報告について(25~27) 発達障がい者支援施策の実施状況について(27・28) 発達障害者支援法の一部を改正する法律について 平成28年度障がい者等基礎調査について 発達障がいガイドの改訂について(検討)
第2回	平成29年2月22日	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい者支援センター事業実施状況報告(28) 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況報告(28) 発達障がい者支援施策の実施状況等について(28) 次期大阪市障がい者支援計画及び大阪市障がい福祉計画の策定について(その他) 児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業所における発達障がい者支援の状況に関するアンケート結果 平成28年度大阪市障がい者等基礎調査集計結果(速報版)(抜粋) 総務省行政評価局による「発達障害者支援に関する行政評価 監視」の結果に基づく勧告について

【副紙資料参照】

4 発達障害者支援モデル事業マネージャーの配置状況について

(1)資格 経験年数

	関係する学歴 職歴等	関係する取得資格等	発達障害児(者)の療育に関する経歴
1	帝塚山大学人文科学部 人間文化学科卒業	社会福祉主事任用資格	
2	国立武蔵野学院附属 児童自立支援専門員養成所卒業	児童自立支援専門員	
3	情緒障害児短期治療施設 あゆみの丘 (平成15年5月～16年3月)		児童指導員 (ADHD・アスペルガー症候群等発達障がい児の生活支援)
4	大阪市職業 リハビリテーションセンター (平成18年4月～20年3月)		指導員 (障がい者の態様に応じた多様な委託訓練) (3障がい担当、発達障がい者含む。)
5	大阪市立千里作業所 (平成20年4月～22年3月)	社会福祉士 相談支援専門員 (初任者) 第1号職場適応援助者	指導員 (職業指導員兼就労支援員・主に知的障がい者担当、発達障がい者含む。)
6	大阪市発達障がい者支援センター (平成22年4月～)		相談員

注)各欄については、具体的に記入すること

また、文字数が不足する場合は別様に記入した書類を添付すること

(2)発達障害者支援モデル事業マネージャーはモデル事業に対して客観的な立場にあったか。

発達障害者支援マネージャーは、モデル事業の実施状況を現場に赴くなどにより常に把握するよう努め、その結果を委員に報告することにより、発達障がい者の実態について、委員との間の共有に努めた。マネージャーは委員会とモデル事業実施者との連絡調整役であり、客観的な立場で業務を遂行することができた。

(3)発達障害者支援モデル事業マネージャーの活動実績

支援モデル事業の「発達障がい者就業支援コーディネーター事業」において、発達障がい者支援センター(エルムおおさか)等の発達障がい者の就労支援に関わる関係機関へ出向き、発達障がい者への相談支援等の状況の把握に努めるなど、関係機関職員との連携を図り、発達障がい者の就労支援の状況把握を行った。また、26年度から開始している発達障がい者支援センターとの連携により実施している「成人期当事者ワークショップ(こころとからだのワークショップ)」および27年度に開始した「発達障がいがある学生の就労準備支援事業」の実施に際する調整や現場においての実施状況把握やアンケートとりまとめを行い、企画推進委員会において報告ならびに提言を行った。

企画推進委員会(発達障がい者支援部会)においては、発達障がい者支援センター事業ならびに25年度から実施している「地域サポートコーチ事業」の取組状況や各種講座のアンケート分析結果のとりまとめを行い、市域の発達障がい者の実情把握に努め、客観的な立場から報告と提言を行った。また、当該委員会で委員より質問・提言された内容については、すみやかにモデル事業実施者にフィードバックして、より良い事業遂行をめざした。

5 支援モデル事業毎の評価について (事業毎に作成すること)

事業名	発達障がい者就業支援コーディネーター事業	
事業の類別 (該当する番号に を付けてください)	(1) 地域で暮らす発達障害者に困りごとが生じた時に発達障害者の特性を理解した上で地域や関係機関において適切な対応を行うための効果的な支援手法の開発	
	(2) 行動障害、二次的障害の「予防」に関する効果的な支援手法の開発	
事業の内容	(3) 行動障害、二次的障害の「改善」に関する効果的な支援手法の開発	
	委託先法人	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
	実施施設名	大阪市障がい者就業 生活支援センター (中央センター)
	施設の所在地	大阪市天王寺区東上町4-17
	選定理由	大阪市内で障がい者の就業支援の総合センターの役割を担う大阪市障がい者就業 生活支援センター (中央センター) を運営し豊富な実績・経験を有することに加え、発達障がい者支援センター事業を通じて、発達障がい者の障がい受容や特性理解、感情のコントロールといった基礎的な社会生活スキルなどの発達支援のノウハウも蓄積し、就業支援・発達支援の両面を持ち合わせている法人である。
	事業に定員がある場合	定員 名
	(事業内容等)	
	<p>発達障がいに関する専門知識を有し、かつ、就労支援サービスの提供もできるコーディネーターにより、市内在住の発達障がいがある方(疑い含む)で就労を希望するものの、就職や職場への適応が困難で、二次的障がいを発症した人など、日常生活又は職業人として困難をきたしている人に対し、関係機関とのコーディネートによる医療支援・発達支援・就労支援等を通じて日常生活面の安定から就労に向けた一貫した支援を展開する。</p> <p>また、就職や職場生活を実際に行う前段階である学生(大学・専修学校等)で「発達障がいのある方(疑い含む)」やそうした学生を支援する担当者等に対し、在学中から「発達障がいの気づき」「特整理」等の自己理解を深め、「働くこと」を体験し、後に訪れる就職活動や職場生活上で発生する課題への対応や困難感に対する工夫への準備といった発達支援を関係機関と連携しながら検討し展開する。</p>	
	<p>就労希望者に対する発達支援・就業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 困難事例(うつが悪化で離職など)や障がい受容・特性理解・感情のコントロールなどの基礎的な社会生活スキルの獲得が必要な就労希望者に対し、発達障がい者支援センター(エルムおおさか)と連携した支援(「ところからのワークショップ」)を実施するなど、就職準備のプロセスへの移行を図る取組み。 個人特性、就労及び生活歴、現在の状況を把握し、医療機関との連携等を含む手帳取得の支援、職業適性の把握、訓練等福祉サービス利用等を通じた職業スキルの獲得・向上、職場体験実習、職種のマッチング等、本人の特性を踏まえながら関係機関とのコーディネートを通じた就職準備を経て就職をめざす取組み。 関係機関や企業と連携した職場定着支援・職場復帰支援の取組み及び仕組みの構築を図る取組み。 	
(実績)	<p>➢ 新規相談者65人のうち、情報提供・定期相談・医療機関連携・ところからのワークショップなどの発達支援等を経て就職準備支援プロセスへ移行した者50人。(資料1【2】 -)</p>	
	<p>➢ 相談者に対する職場定着・復帰支援としての職場訪問延べ87回、職場訪問による実支援人数26人。事業所に対する職場定着・復帰支援としての職場訪問延べ64回、実支援事業所37件(資料1 - 【4】 -)</p>	
	<p>➢ 平成28年度就職者数40人(内A型事業所8名)資料1 - 【5】、資料2)</p>	
	<p>➢ 「ところからのワークショップ」...参加者3名、6回連続講座(資料3)</p>	

	<p>将来、企業への就職を希望する、発達障がい(疑い含む)のある学生等に対する発達支援・就労準備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職や職場生活を実際に行う前段階である発達障がい(疑い含む)のある学生および学生支援担当者等に対する自己理解等の発達支援の実施。 『ビジネスマナー』講座受講や『しごと体験』等の実習体験を通じ、就労に向けた課題整理などの就労準備支援の実施。 連携先大学、専修学校等へ「発達障がいの正しい理解と適切な対応」や「社会資源の活用」等についての出前講座等を実施し、在学中の早い段階からの学生支援の必要性や「学生就労準備支援プログラム」の活用について周知を図る取組み。 													
	(実績)	<p>> 就労準備支援講座 参加学生8名、参加学生支援者2名、参画(参画準備調整含む)した大学2校(資料4)(参考資料1「就労について語るつ会」シューカツ準備しませんか?!」チラシ)</p>												
		<p>> 就労準備支援として、専修学校・定時制高校等へ「出前講座」を実施し、学生支援者等へ発達障がいの正しい理解と対応の工夫や社会資源の利用ノウハウなどを発信。出前講座実施回数15回、参加者数684名。(資料5)</p>												
	<p>発達障がい者の地域就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業や就労継続のための生活支援方法に関する、地域関係機関との検討、連絡調整、および関連する諸機関との情報共有を円滑に行うためのネットワークを構築する取組み。 大阪市内7地域に設置する各障がい者就業・生活支援センターや就業相談を行う支援機関における、発達障がい者への就労支援スキルの向上を市内全域でめざす取組み。 対象者が地域で普通に日常生活を送り、働き暮らせるよう、障がいを理解し、支える機関を増やすとともに、学校や発達障がい者支援機関など、各機関の役割に応じて、対象者へ最大限の支援が提供されるよう連携調整する。 													
	(実績)	<p>> セミナー等講演会への講師派遣等5回、参加者数320名。(資料6)</p>												
		<p>> 市域7か所の地域障がい者就業・生活支援センター就労支援員への発達障がい相談支援手法の伝達による後方支援。月1回程度の勉強会における「対事例紹介・ケース検討」連携先・連携方法等の共有」等(資料7)</p>												
	<p>発達障がい者の就労支援・発達支援に関する情報の収集、発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 「発達障がいのある人の就職に関する相談窓口」として、障がい者手帳の有無にかかわらず、就労支援を必要としている人に解りやすく情報を届け、相談者の状況に応じて発達支援にもつなげるなど、対象者の態様に応じた方向へと道案内する。 													
	(実績)	<p>> 大阪市障がい者就労支援フェスタへの参加者190名、参加企業・機関数49か所。(資料6)(参考資料2「シューカツノート」)</p>												
<p>人材の配置状況</p>	<table border="1"> <tr> <td>職種</td> <td>就業支援員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	職種	就業支援員				人数	2人				<p>(勤務形態等) 専任職員による配置</p>		
職種	就業支援員													
人数	2人													
<p>対象者の選定における基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がいがあること(発達障がいの「疑い」含む) 対象者が企業への就職を希望していること 現職業の継続に困難を生じていること 社会生活スキルに端を発した離職や就職活動の困難さを経験していること 大学・専修学校等に在学中の発達障がい(疑い含む)がある方で、将来、企業への就職を希望していること 													

事業による効果

就労希望者に対する発達支援・就業支援

- 就労希望者の就労を困難にする要因としては、就労支援や福祉サービスの存在や活用方法について知識が無い、自分の障がい特性やそれに対する工夫を知らない、対人関係に自信が持てない、生活リズムや生活習慣の乱れがある、家族との認識や意向に食い違いがある、医療的ケア（精神面での）が必要な状態であること等があげられる。就業支援コーディネーターは就労希望者の「道のり」から就労を困難にする要因や就労希望内容の整理、必要に応じて医療機関と連携し、本人と主治医との意思疎通補助や医療機関のケースワーカーと情報共有を図ること、精神面の安定に向け効果的な治療と就労支援が並行して実施できるという効果をもたらしている。
- 発達障がいの特性理解については、面談で、本人が過去に直面した困難な場面や苦手な場面、本人や家族が自覚している特性等の聞き取り等を通して一緒に整理をしたり、訓練や実習等の「実体験」と「振り返り（他者からの客観的な評価）」を通して整理をすることで、具体的に深い理解につながった。また、発達障がい者支援センター、長居障がい者スポーツセンターと連携して、困難事例を対象に「こころからだのワークショップ」を実施した。グループワークでは、どんな時にプラスの感情を感じるかを書き出すことから始め、感情がマイナスにふれかけた時の修復方法を話し合いながら見つけていくことを実践した。また、からだを動かす体験で得られた爽快感やリラックス感を実感することで、身体活動が「健康維持」だけでなく感情のコントロール」に役立つことに気づくこと、また、できていること、そこそこのこと、苦手なことを書き出して「自己理解」のきっかけづくりをする等、就労に向けた次のステップへのベース作りの一端を担えたものと思われる。
- 就労準備のためにつながった資源としては、障がい者職業センター（職業評価・準備支援）就労移行支援、職業能力開発施設、自立訓練、就労継続支援B型、就労体験、企業実習等があげられる。大阪市内には就労準備を行う訓練機関が数多く存在する。多くの選択肢の中から選択することが一人では難しい人に対し、本人の希望に合いそうな機関をピックアップし見学同行や体験の手配、その後の情報整理等を行いながら本人が選択しやすい環境を作り、本人が納得できる訓練施設につながる事が出来た。就労準備中の本人の状況をハローワークと共有することで、本人と職場・職種とのマッチングがよりスムーズになり、効果的な職業紹介が可能になった。

生活面に不安定要素のある人については、地域の相談支援事業所に協力をお願いし、ヘルパー派遣や金銭管理、健康管理などを行うことで就労準備や就職活動により集中しやすい環境を整えた。

コーディネーターが関わることでこれまでなかった福祉資源へのつながりが出来ること、就職までに準備しておくべきことが整理されること、就職活動や手続きの際のコミュニケーションの行き違いによるトラブルが軽減されることなどの効果があった。また、医療機関とのこまめな情報共有（受診同行含む）により、訓練機関とも精神症状（二次的障がい等）への対応について共通の認識を持ち就労準備訓練を行うことが出来た。

さまざまな支援機関の役割を踏まえ、コーディネーターが継続的に支援をコーディネートするという仕組みにより40人の方が就職につながった。
- 職場定着支援では、就労の準備段階で、医療機関・ハローワーク・障害者職業センターのジョブコーチ制度・就労移行支援等の訓練機関と連携し、整理した本人の障がい特性や支援方法を企業に伝えることで、障がいに対する理解を促し、職場環境を整えることが出来た。特に就職先企業においては、人事や現場担当者だけでなく、産業医とも連携することで、企業が自立的に職場定着支援が実施できる仕組みづくりに寄与した。

雇用が長期にわたると職場環境の変化（業務内容 人的環境）の発生は避けられないため、本人との定期面談等により、職場環境の変化を早めに把握することで、変化に対する本人の気持ち等の準備を整えることが出来、職場不適應を未然に防ぐことが出来た。また、日頃から企業と情報共有体制を整えておくことで、生じた課題に速やかに対応することが可能となり、休職や離職を回避することができている。

将来、企業への就職を希望する、発達障がい(疑い含む)のある学生等に対する
発達支援 就労準備支援

大学や専門学校等を卒業後、社会とのつながりが持てないまま無業状態に陥り発達障がい者就業支援コーディネーターのもとへ相談に訪れる方の中には、アルバイトで働く経験もないなど、働くイメージが持てず、また自分の特徴が整理できないまま就職活動をしてうまくいかなかった事例が多い。27年度は、大学紹介から紹介された4回生の学生が個別に当プログラムのGWや企業実習に参加されたが、事例を通して、入学後なるべく早く自分の特徴を考えてみる 就労支援情報を知る機会を持ち、できれば働く経験をすることの必要性が再確認された。それを受けて、28年度は、プログラムの入り口として「就労について語ろう会」を年間数回開催し、大学卒業 就職後や卒業後、休学中に発達障がいであることがわかり就労移行支援事業所を経由して特例子会社や一般企業(パート、障がい者雇用)に就職した当事者をゲストスピーカーに招き、診断されてからの経緯も含めた経験談を複数で聞いていただく機会を設定した。その結果、2回生、3回生の他、就職課の支援者も「語ろう会」と企業見学に参加され、その場で学生と就職担当者が直接つながることも実現した。一般就職を希望する学生も多く、特例子会社や障がい者雇用での実習への参加には至らなかったが、プログラム参加後に休学 退学することになった学生や新卒の学生については、半年以内に障がい者雇用を目指すなど、長期間さまようことなく各自に合った進路を見出すことができ、ある程度発達障がいがある大学生の就労に向けたプログラムの効果が得られたものと思われる。

また、専修学校・定時制高校等への「出前講座により「発達障がい理解講座」を積極的に実施し、「教職員」「家族発達障がいの正しい理解と対応の工夫、社会資源利用ノウハウを発信することで、在学中の早い段階からの学生支援の必要性について周知を図ることができた」とともに、発達障がいのある学生の「身近な支援者」「身近な支援者」を増やすことにつながった。また、体験実習や社会資源の活用を紹介することで、就労にむけての「体験」や働き方について前向きに考えてみるきっかけづくりにもつながった。

発達障がい者の地域就労支援

- 講演等を通じ、より多くの関係機関・支援者等に発達障がいに関する正しい理解や支援の工夫、特に発達障がい者の就労支援の実際や支援ノウハウを広く発信し、地域における支援ネットワーク構築を推進した。

特に、「日本精神神経科診療所協会児童青少年問題関連委員会」において精神科医師・小児科医師・心理士、教員等へ発達障がいのある方の就労支援の状況を発信することで、判定・診断後の支援の方向性や医療と教育、福祉との連携の必要性について改めて認識いただくことができた。

加えて、市内学校園の特別支援教育を担当する教員向けセミナーでは、「就労支援とキャリア教育について」とし、障がい者就業支援に関わる機関の役割を伝え、学校と卒業後の見通しや、在学中に準備出来ることなどを周知し支援手法の発信を行った。

また、地域で発達障がいのある方への適切な支援が可能となるよう、コーディネーターは、毎月1回程度各地域就ボツ(市内7か所)の支援員を集めて勉強会を行い、ケース対応事例や就労までの「道のり」の紹介等を通して支援手法を発信し、発達障がい者への就労支援スキル向上につなげている。

発達障がい者の就労支援 発達支援に関する情報の収集・発信

- 大阪市障がい者就業支援フェスタを企画・開催。当事者・家族・教育関係者・相談支援機関職員・企業担当者等など参加者は190名、参加企業・機関49事業所であった。

障がい者雇用で働く当事者と、雇い入れている企業の担当者、その支援者による体験談をとおして、就職活動に困難を感じている当事者や保護者、支援関係者に向けて、企業の障がい者雇用に対する考え、雇用現場の工夫や悩み、障がい者就業・生活支援センターや発達障がい者就業支援コーディネーター事業および障がい者就業支援についての理解を深め、支援手法の普及を図った。

当事者・支援者・雇用者といった様々な立場の考え方を知ることの重要性を周知するとともに、各機関が「縦割り」ではなくつながりを持ちながら役割分担をして対象者を支える仕組みについて、ケース事例を交えながら発信し、さまざまな支援手法を広めることができた。

<p>事業効果を測るための視点及び検証方法</p> <p>(上記の番号と対比させて記入すること)</p>	<p>継続して相談をしているケース、職業準備のための訓練や職場定着支援などを継続して受けているケースについては、就業支援コーディネーターが関わることで展開とつながった地域資源、関わりを通じた本人の変化、就労に向かう道のりのふりかえりを行った。情報提供など1回～数回の面談で終了したケースについては、相談者が求めていた情報の内容を整理した。医療機関と情報共有を行っているケースについては、医療機関から見た本人の変化についての聞き取りを行い、効果的な支援が出来ているかのふりかえりを行った。「ところからのワークショップ」参加による自己理解等については、参加者へ記述式のアンケートを実施。</p> <p>学生への就労準備支援講座について、参加した学生と連携大学の学生支援者にアンケートと個別に感想を聴取した。</p> <p>また、専修学校・定時制高校等への出前講座においては、講座受講のきっかけや講座プログラムに関し、参加の教職員だけでなく参加学生からの意見集約ができるよう講座終了後、参加者にアンケートを実施。</p> <p>講師として参加したセミナー等については、各主催者が実施したアンケート調査結果の情報提供をうけ分析している。</p> <p>就職者・支援者・企業当者に体験談を語ってもらうセミナーの終了後、参加者に対してアンケート調査を実施した。発達障がい者への就労支援に対する関心の有無、就労支援に関して必要としている情報などについて質問項目を設定し、検証をおこなった。</p>
<p>他地域に手法を広げるための方法</p>	<p>・大阪市ホームページにおいて、各々の事業実施内容に加え、就職につながった方の「初回相談時の状況」「相談経路」「利用社会資源」等を詳しく記載した資料を掲載し、支援者だけでなく当事者やその家族の方にも「相談のきっかけ」や「相談後の道」など参考となるよう情報掲載する。(ただし、大阪市発達障がい者支援部会資料として。)</p> <p>・障がい者支援機関の位置づけではない機関(高等学校 専修学校、大学、医療機関、企業等)への講演会積極的にを行い、発達障がいの正しい理解や発達障がいのある方への就労支援手法、困った時の対応や工夫の一例について、支援者だけでなく当事者やその家族へ周知を図り、就職活動を行う前段階から「就職準備支援(自己理解の取組みなど)」を行うことの効用について発信する。</p>
<p>国に提出する成果物</p>	<p>・ 発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告</p>
<p>今後の課題</p>	<p>【1】発達障がい者就業支援コーディネーター事業については、28年度においても、65名が新規登録しており、発達障がい者の就労支援の専門的窓口として多くのニーズがうかがえる。一方、大阪市では平成27年度に市内6か所の各地域就ポツの就労支援員を2名・3名に増員し、発達障がい者の就労支援に身近な地域でも対応可能となるよう相談支援体制の強化を図ったところである。市内7か所の就ポツにおける相談支援件数は、全体で29,956件・30,586件と増加した。また、毎月の市内就ポツ連絡会の中では、発達障がいのある方の困難事例が多くなってきている状況も報告されており、各就ポツの就労支援員が困難事例にも対応できるよう、今後も、発達障がい者就業支援コーディネーター事業において、職員のスキル獲得に向けた後方支援の取組みをより一層進めていく必要がある。</p> <p>【2】「発達障がいのある学生への就労準備支援」については、参加学生への支援だけでなく、学生が所属する大学等の機関の学生支援者への理解促進の程度や大学生活とのスケジュール調整が鍵となる。28年度は大学からの紹介はあったものの、その後の連携については決して十分とは言えず、大学側の学生支援者と共に「就職準備のための課題整理」をしっかりと行えるまでの連携の深まりには至らなかった。一方、就職課の支援者も「語ろう会」と企業見学に参加することにより、発達障がいのある学生が「働くために必要なこと」を知ること、就職担当者が発達障がいのある学生や相談機関と直接つながることの重要性を認識していただけた。このことから、1人でも多くの学生支援者へ「発達障がい理解」や「就職準備支援」について、丁寧に説明するとともに、組織的に「発達障がいのある学生」への学内支援を考えていただくための仕掛けの提案に携わるなどの連携が必要である。</p>

注 各欄については、具体的に記入すること
また、文字数が不足する場合は別様に記入した書類を添付すること

6 全国に普及すべき内容について（事業毎に作成すること）

大阪市内の発達障がい者支援システム構築への仕掛け

- 発達障がい者に対するサービス・役割を支援機関に振り分けていくコーディネート手法や、発達障がいがある方と面談する中でのニーズ整理や自己理解をすすめていく具体的な手法を、障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク、就労支援施設などと共有するための仕掛け
（支援者養成講座、ブロックごとの連絡協議会や障がい者就業・生活支援センター連絡会議での事例検討会、事例集の作成・普及など）
- 就労支援のどの窓口に行っても、発達障がいのある方が一定の方向付けや支援を受けられるように、発達障がいがある方の就労支援に関する情報を効果的に発信する仕掛け
- 大学生の仕事体験など、在学中から「働くこと」のイメージを持ち「自分にマッチした仕事探し」を準備していく際に、福祉施設などの評価・実習機能が利用できないなど、支援体制が整っていない。在学中から発達障がいの疑いのある方」やそういった学生を支援する進路担当者に対する障がい理解・自己理解の促進や「しごとを知る体験」といった発達支援を展開していく仕掛け

添付資料一覧

【別紙資料】

- ・平成 28 年 8 月・平成 29 年 2 月開催
大阪市障がい者施策推進協議会発達障がい者支援部会
(企画・推進委員会) 次第

< 資料 1 >

平成 28 年度 発達障がい者就業支援コーディネーター事業 (相談者の状況)

< 資料 2 >

平成 28 年度 就職者一覧

< 資料 3 >

平成 28 年度「こころとからだのワークショップ」実施報告

< 資料 4 >

平成 28 年度「発達障がいがある学生の就労準備支援事業」実施報告

< 資料 5 >

「専修学校等学生・進路担当者向け出前講座等」について

< 資料 6 >

セミナー等講演会・障がい者就労支援フェスタ実施状況について

< 資料 7 >

地域就ポツとの事例・情報共有勉強会実施状況 (平成 28 年度)

< 参考資料 1 >

- 「就労について語ろう会」チラシ
- 「シューカツ準備しませんか?!」チラシ

< 参考資料 2 >

「シューカツノート」

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会

次 第

日 時：平成28年8月30日（火）午前10時～正午

場 所：大阪市役所 地下1階 第11 共通会議室

〔議事次第〕

1 開 会

2 議 題

- (1) 発達障がい者支援センター事業実施状況について
- (2) 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について
- (3) 再構築事業（発達障がい者支援関係）実施状況報告について
- (4) 発達障がい者支援施策の実施状況について
- (5) 発達障害者支援法の一部を改正する法律について
- (6) 平成28年度障がい者等基礎調査について
- (7) 発達障がいガイドの改訂について（検討）

〔配付資料〕

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会 委員名簿

- 資料1 発達障がい者支援センター事業実施状況について
- 資料2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について
- 資料3 再構築事業（発達障がい者支援）実施状況について
- 資料4 発達障がい者支援施策の実施状況について
- 資料5 発達障害者支援法の一部を改正する法律について
- 資料6 平成28年度大阪市障がい者等基礎調査の概要について
 - 資料6-1 障がい者(児)基礎調査表 A1（本人用）（案）
 - 資料6-2 障がい者(児)基礎調査表 A2（家族用）（案）
 - 資料6-3 障がい福祉サービス事業者等調査票 B（案）
 - 資料6-4 大阪市発達障がい者支援センター(エルムおおさか)・発達障がい児専門療育機関利用者アンケート C（案）
- 資料7 発達障がいガイドの改訂について（検討）

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会

次 第

日 時：平成 29 年 2 月 22 日（水）午後 2 時～4 時

場 所：大阪市役所 屋上階（P1）共通会議室

〔議事次第〕

1 開 会

2 議 題

- (1) 発達障がい者支援センター事業実施状況について
- (2) 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について
- (3) 発達障がい者支援施策の実施状況等について
- (4) 平成 28 年度大阪市 障がい者等基礎調査の状況について
- (5) 次期大阪市障がい者支援計画及び大阪市障がい福祉計画の策定について
- (6) その他

[配付資料]

大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会 専門委員名簿

障害者施策推進協議会条例

- 資料1 発達障がい者支援センター事業実施状況について
- 資料2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について
- 資料3 発達障がい者支援施策の実施状況等について
- 資料4 平成28年度 障がい者等基礎調査の状況について《抜粋》
- 資料5 次期大阪市障がい者支援計画及び大阪市障がい福祉計画の策定について
-
- 参考資料1 児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業所における発達障がい者支援の状況に関するアンケート結果
- 参考資料2 平成28年度 大阪市障がい者基礎調査集計結果（速報版）（抜粋）
- 参考資料3 総務省行政評価局による「発達障害者支援に関する行政評価・監視」の結果に基づく勧告について

平成28年度

発達障がい者就業支援
コーディネーター事業

相談者の状況
(平成29年3月31日時点)

大阪市障がい者就業・生活支援センター

【1】登録者の状況

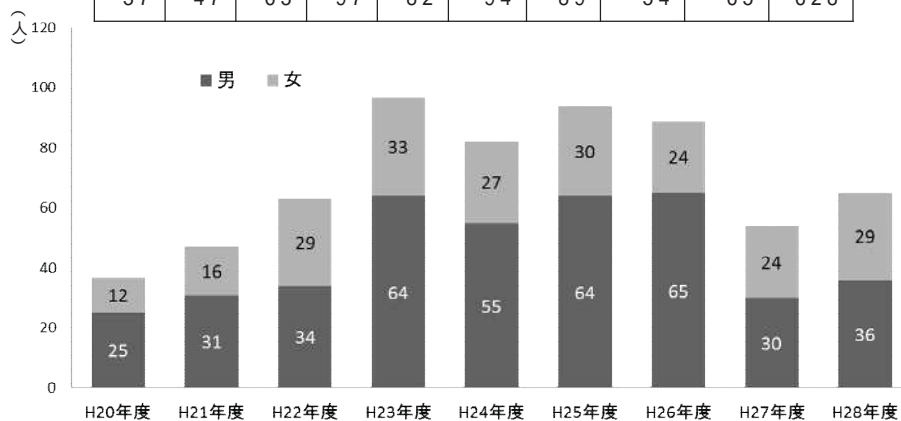
		平成27年度	平成28年度
登録者数		277名	222名
内訳	前年度からの 継続相談者	223名	157名
	新規相談者	54名	65名

・「登録者」とは、継続した就労支援を希望している者

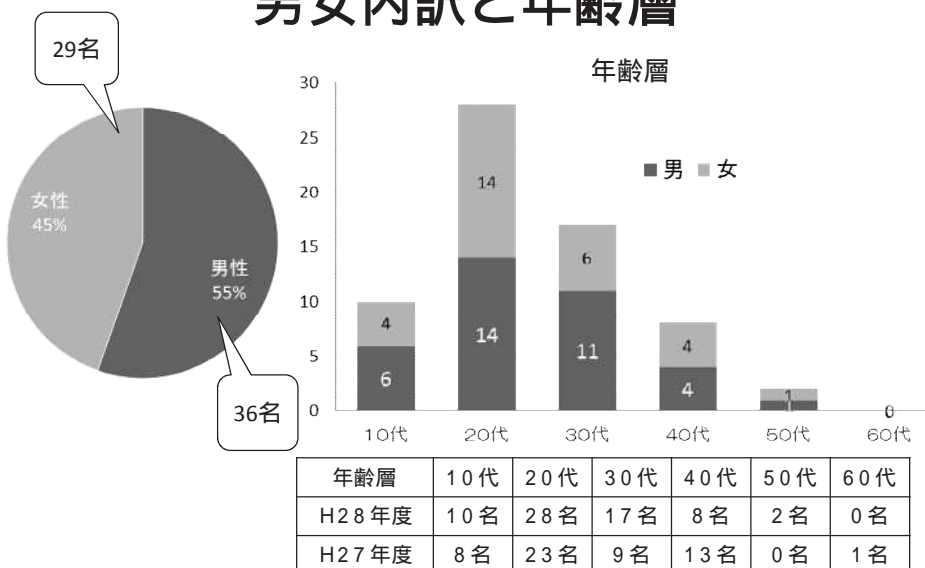
【2】平成28年度新規相談者の状況

新規相談者数の変化

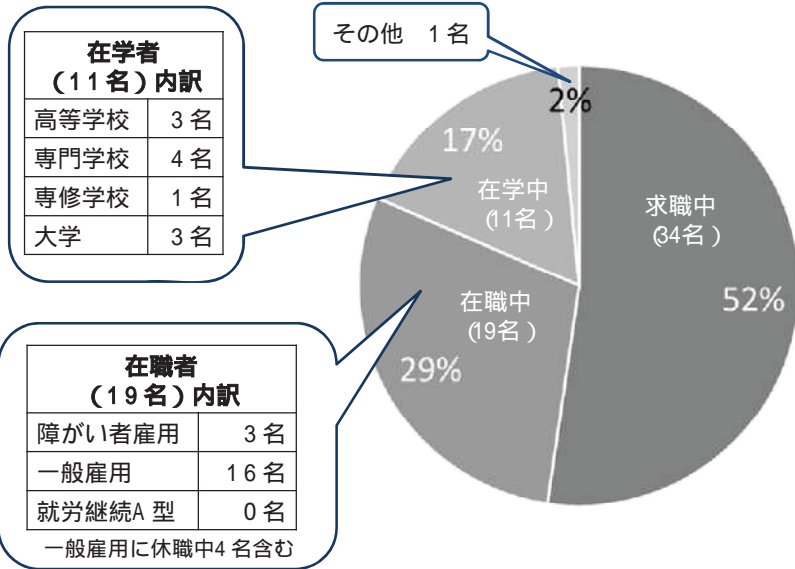
H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	相談者 合計
37	47	63	97	82	94	89	54	65	628



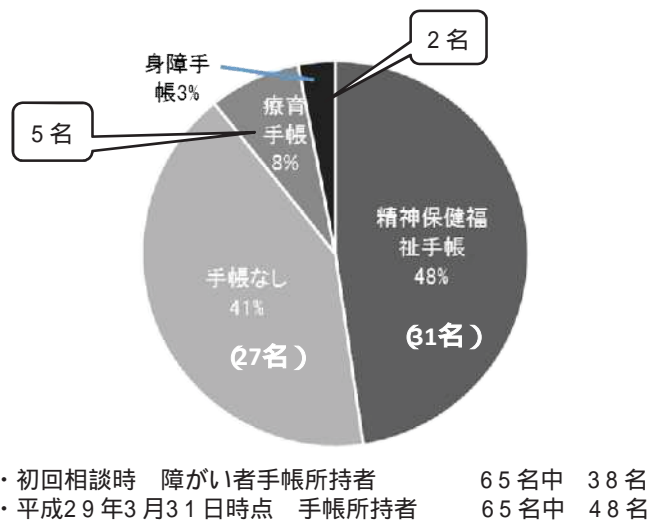
新規相談者の 男女内訳と年齢層



新規相談時の状況



新規相談時に所持していた障がい者手帳の種類



新規相談者の相談経路 (どこから紹介されたか)

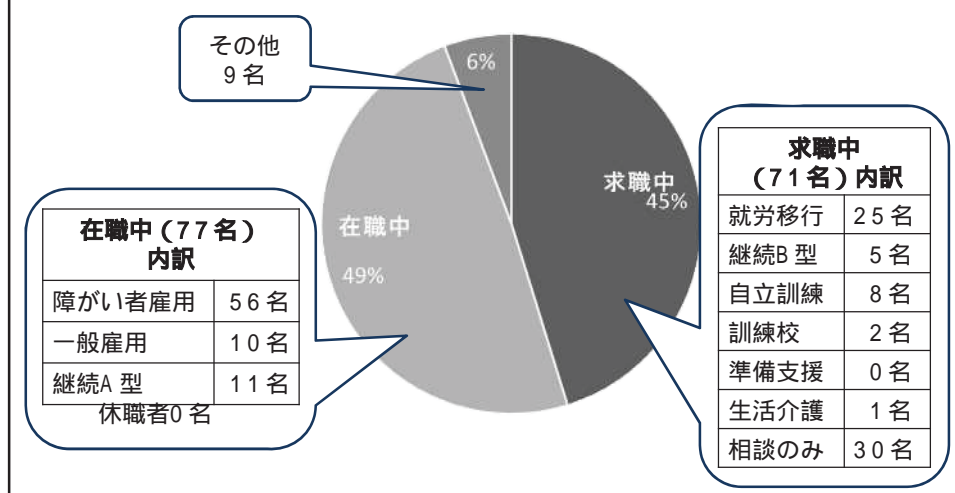
	H27年度	H28年度
ホームページ	12名	11名
医療機関	9名	15名
ハローワーク	6名	9名
家族・知人	5名	3名
エルムおおさか	5名	4名
区役所	4名	9名
学校	3名	2名
障害者職業センター	2名	2名
はーとふるぷらざ	2名	1名
若者・一般向け相談機関	2名	5名
就労移行支援事業所	2名	1名
企業	1名	2名
その他(困窮者支援等)	1名	1名

新規相談者への関わり (どんな社会資源につながったか)

支援内容	支援人数(のべ)
情報提供のみ(初回相談で終了)	15名
定期的な相談	6名
訓練施設の見学	24名
訓練施設の体験利用	14名
職業評価(障害者職業センター)	17名
職業準備支援(障害者職業センター)	7名
訓練施設の利用(就労移行支援)	4名
訓練施設の利用(就労継続B)	4名
訓練施設の利用(委託訓練)	1名
ハローワーク同行	4名
医療機関との連携	9名

【3】 継続相談者の状況

継続相談者（157名）の内、
90%が障がい者手帳を所持している



【4】 登録者への相談・支援 (登録者 = 新規相談者 + 継続相談者)

相談・支援件数 (内容別・延べ件数)

	H27年度	H28年度
就職に向けた 相談・支援	1070件	1507件
職場定着に向けた 相談・支援	606件	814件
就業と生活両方にわたる 相談・支援	208件	470件
合計	1884件	2791件

相談・支援件数（手段別・延べ件数）

	H27年度	H28年度
センターへの来所	347件	325件
電話・FAX・メール	1064件	1935件
職場訪問（のべ訪問回数）	105件	109件
家庭・入所施設への訪問	19件	9件
その他 （ハローワーク、医療機関、区役所等への同行、ケース会議等）	349件	413件
合計	1884件	2791件

相談・支援で連携した機関

就職に向けた 相談・支援	ハローワーク、障がい者職業センター 医療機関、はーとふるぷらざ、エルム、 区役所（福祉・生保・困窮者窓口等） 相談支援事業所、各種学校、一般向相談窓口 障がい者福祉サービス事業所 （就労移行、継続A・B、自立訓練等） 職業能力開発施設、体験実習先の企業など
職場定着に向けた 相談・支援	就職先企業（人事・現場担当者、産業医等） ハローワーク、障がい者職業センター 医療機関、相談支援事業所、 就労移行など職業訓練を受けていた機関 区役所（福祉・生保・困窮者窓口等）
就業と生活両方に わたる相談・支援	ハローワーク、障がい者職業センター 区役所（福祉・生保・困窮者窓口等） 相談支援事業所、訪問看護ステーション、 障がい者福祉サービス事業所 （ショートステイ、ヘルパー、ケアホーム） 医療機関、地域包括支援センターなど

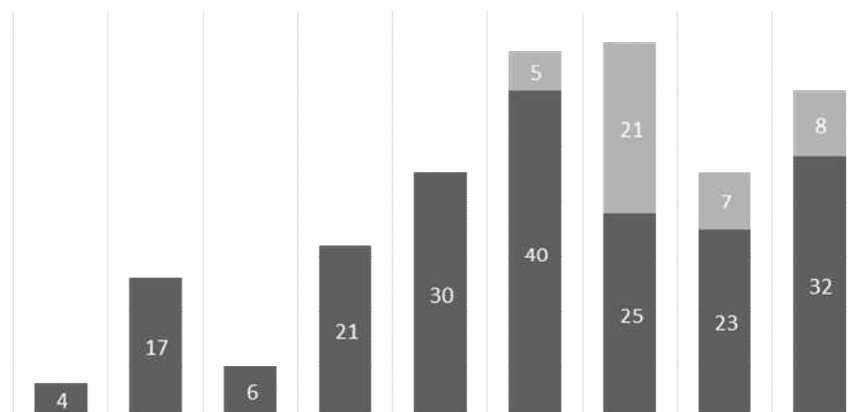
職場定着支援・職場復帰支援

本人に対する支援	H27年度	H28年度
支援対象者（在職中の方）	113名	96名
職場定着に向けた相談・支援 （来所相談、電話等、職場訪問、家庭訪問 など）	606件	814件
職場訪問件数（のべ）	75件	87件
職場訪問実人数	24名	26名

事業所に対する支援	H27年度	H28年度
支援を実施した事業所	30件	37件
来所	2件	2件
電話（メール、FAX含む）	117件	113件
職場訪問	40件	64件
その他（ケース会議等）	3件	3件

【5】就職者数

■一般企業 ■A型事業所



H20年度 H21年度 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度

平成28年度就職者一覧

障害者手帳	診断名	年代	就職時における一般就業者	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種・業種	通労働時間	相談経路	初回相談時の状況	利用した社会資源等
1	知的 広汎性発達障害	40		36ヵ月	1か月で退職	軽作業 商品管理	30時間以上	就ボツ	求職中 他地域の就ボツで相談していたが、担当者と の折り合いが悪くなった。	就労継続A型事業所を利用しながら転職活動。
2	精神 自閉症スペクトラム	20		8ヵ月		技術職(通信機器)	30時間以上	職業訓練校 (一般向け)	在学中 訓練校 一般向け職業訓練校で訓練中	職業評価(職業センター)で障がい特性や傾向の整理。
3	精神 広汎性発達障害	40	クロス	12ヵ月(転職)		施設管理	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	求職中 障害者雇用で働いていたが、退職	職業訓練校(一般向け)で設備管理の技術を身につけて転職。
4	精神 広汎性発達障害	40	クロス	2週間(転職)	2か月で退職	事務職	30時間以上	ホームページ	在職中 クロス 一般枠で働いていたが、体調不良で退職中。 転職希望。	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
5	精神 ADHD 広汎性発達障害	20	クロス	1ヵ月	1か月で退職	事務補助	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	在職中 クロス 一般枠で働いているが、転職希望	退職後、職業評価(職業センター)と職業準備支援(職業センター)を利用
6	知的 広汎性発達障害 (知的障害重複)	40		4ヵ月		介護補助	30時間以上	就労移行支援	求職中 就労移行支援事業所から 就職活動についての相談	職場実習の手配 就労移行のスタッフと連携
7	精神 ADHD 広汎性発達障害	30		35ヵ月		事務補助	30時間以上	エルムおおさか	求職中 仕事がつまひかず障害を疑い相談	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
8	精神 広汎性発達障害	30		16ヵ月		事務補助 特別子会社	30時間以上	エルムおおさか	求職中 就職活動がつまひかず相談	就労継続A型事業所を利用しながら転職活動。
9	知的 広汎性発達障害 てんかん	20		3ヵ月(転職)		介護職	30時間以上	はーとふるぶらざ	在職中 クロス 一般枠で働いているが、転職希望	支援後、障がい者向けヘルパー講習受講、障がい者枠で就職 するが、人間関係に悩み転職。
10	知的 ADHD (知的障害重複)	20		4ヵ月	2か月で退職	調理補助	30時間以上	ホームページ	求職中 就職活動がつまひかず相談	職場実習の手配 退職後、就労移行支援事業所を利用
11	精神 自閉症スペクトラム	20	クロス	1ヵ月	1か月で退職	補充作業員	30時間以上	就ボツ	求職中 障害者と一般枠を迷い相談	退職後、就労移行支援事業所を利用
12	精神 広汎性発達障害	20		31ヵ月		事務補助	30時間以上	医療機関	求職中 前職(クロス)を体調不良で退職 障害者手帳取得後の相談	職業評価(職業センター) 就労移行支援事業所
13	精神 広汎性発達障害 抑うつ状態	40		6ヵ月	6か月で退職	倉庫内業務	30時間以上	就労移行支援	求職中 就労移行支援事業所から 就職活動についての相談	職場実習の手配 退職後、就労移行支援事業所を再利用
14	精神 アスペルガー一症候群	30		5ヵ月		事務補助	30時間以上	ホームページ	求職中 一般枠で働いた経験あり 就職活動がつまひかず相談。	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
15	精神 広汎性発達障害	30		14ヵ月(転職)		食品加工工場	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	求職中 一般枠で働いた経験あり 就職活動がつまひかず相談。	支援後障がい者雇用で3年半働いた経験あり 職業評価(職業センター)、就労移行支援事業所を利用し転職
16	精神 広汎性発達障害	20		39ヵ月		事務補助	30時間以上	親の会	在学中 大学 大学卒業後の進路についての相談	就労移行支援事業所
17	知的 広汎性発達障害 (知的障害重複)	20		18ヵ月(転職)		工場内作業	30時間以上	はーとふるぶらざ	求職中 専門学校卒業後、一般枠で働くが退職。 障害者手帳取得後の相談。	支援後、障がい者雇用で働く人間関係で悩み1年で退職 退職後、職業能力開発校で訓練し再就職。
18	精神 アスペルガー一症候群	20		9ヵ月	3ヶ月で退職	事務補助	30時間以上	ホームページ	求職中 一般枠で働いていたが、苦勞することが多 く連障書を疑って相談	職業評価(職業センター)、職業準備支援(職業センター) シゴゴコーチ支援(職業センター)
19	精神 広汎性発達障害	20	クロス	2ヵ月		販売	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	求職中 アルバイト経験はあるが、現在はひきこもり	就労移行の見学をするが、 早くにお金が必要だとアルバイトを開始。
20	精神 広汎性発達障害	30	クロス	6ヵ月(転職)	1週間で退職	工場内作業	30時間以上	因窮者支援	求職中 一般枠で働いた経験あり 就職活動がつまひかず相談。	支援後、障がい者雇用で働く人間関係で悩み2年半で退職 退職後、ハローワークで就職活動。

障害者手帳	診断名	年代	就職時にあける一一般枠の有無	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種	業務時間	相乗経路	初回相談時の状況	利用した社会資源等
21	精神 広汎性発達障害	20		27カ月		軽作業 商品管理	30時間以上	区役所	就職活動がうまくいかず相談 求職中	就労移行支援事業所 シヨゴコチ支援(職業センター)
22	知的 発達障害	20		1カ月	1週間で退職	調理補助	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	過去に支援機関に登録していたが、疎遠に。 就職活動に行き詰って相談。 求職中	面接同行。 職場実習の実施
23	精神 自閉症スペクトラム	30	クロス	1カ月		保育補助	20時間以上 30時間未満	医療機関	一般枠で働いているが、転職希望 在職中	定期的な相談
24	精神 自閉症スペクトラム	30		20カ月		事務補助	30時間以上	医療機関	一般枠で働いているが、転職希望 在職中	就労移行支援事業所
25	精神 自閉症スペクトラム ADHD	30		10カ月		事務補助	30時間以上	医療機関	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。 求職中	障がい者委託訓練 シヨゴコチ支援事業(職業センター)
26	精神 自閉症スペクトラム	20		18カ月		清掃	30時間以上	区役所	自営業を手伝っている。 就職活動についての相談 求職中	就労移行支援事業所
27	知的 自閉症スペクトラム	20		7カ月(転職)		事務補助	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	一般枠で働いているが、うまく行かず相談 在職中	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
28	精神 ADHD	30	クロス	5カ月		事務補助	30時間以上	ハローワーク (障害者窓口)	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。 求職中	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
29	精神 自閉症スペクトラム	40	クロス	2カ月(転職)		看護師業務	20時間以上 30時間未満	ホームページ	一般枠で働いていたが、体調不良で休職中。 職場復帰を希望。 在職中	職場復帰するが、再休職の後、退職。 退職後、ハローワークで就職活動
30	精神 自閉症スペクトラム	30		4カ月(転職)		品出し 組立	30時間以上	困窮者支援	一般枠で働いた経験あり。 就職活動がうまく行かず相談。 求職中	ケースN020 退職後、ハローワークで就職活動
31	精神 自閉症スペクトラム	30		55カ月		事務補助	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	働いた経験なし、ひきこもり状態。 就職活動についての相談 求職中	障がい者委託訓練 就労移行支援事業所
32	精神 自閉症スペクトラム	20	クロス	5カ月		調理補助	20時間以上 30時間未満	ホームページ	高校を平成28年9月に卒業 就職活動についての相談 求職中	職業評価(職業センター) 職業準備支援(職業センター)
33	知的 アスペルガー症候群 (知的障害重複)	40		70カ月		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	医療機関	就職活動についての相談 求職中	定期的な相談
34	知的 (知的障害重複)	20		20カ月		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	就労継続B 事業所から ステップアップについての相談	就労継続B型事業所から ステップアップについての相談 求職中	就労移行支援事業所 グループホーム
35	精神 アスペルガー症候群	30		30カ月	3ヶ月で退職	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	医療機関	退院後、就職活動についての相談 求職中	就労移行支援事業所
36	精神 アスペルガー症候群	30		3カ月(転職)		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	医療機関	退院後、就職活動についての相談 求職中	ケースN036 A型事業所が閉鎖になり、ハローワークで就職活動
37	精神 広汎性発達障害	20		9カ月	10か月で退職	軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障害者窓口)	専門学校を休学中 就職活動についての相談 求職中	A型事業所を利用していたが退職 その後、ハローワークで就職活動
38	精神 広汎性発達障害	10		7カ月		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	区役所	一般枠で働いていたが、苦勞するところが多 退院後、就職活動について相談 在職中 クロス	家族との折り合いが悪く一人暮らしを希望 A型事業所を利用しながら転職活動することに
39	精神 自閉症スペクトラム	30		15カ月(転職)		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	職業訓練校	職業訓練校で訓練を受けたが 就職が決まらず相談 求職中	支援後、3年間一般企業で働くが、会社都合で退職。 その後、ハローワークで就職活動
40	知的 自閉症スペクトラム	40		12カ月(転職)		軽作業 (就労継続A型)	20時間以上 30時間未満	はーとふるらさ	一般枠で働いた経験あり 就職活動がうまく行かず相談。 求職中	職業訓練校を中途退校 その後、ハローワークで就職活動

「こころとからだのワークショップ」実施報告

【平成28年度】

1. 目的

発達障がいがある成人期の方たちが小グループで感情やそのコントロール方法、感情とからだのつながり等についてともに学び、からだを動かすことによるリラックス効果や楽しさを体験する、また、自分の得意・不得意について話し合う機会を設定することにより、就労するために大切な「健康維持」や「感情のコントロール」「自己理解」への気づきと日常での工夫実施のきっかけとすることを目指す。

2. 参加者

平成28年度、発達障がい者就労支援コーディネーターおよび大阪市発達障がい者支援センターに就労を目的に相談来所され、まだ就労支援機関の利用に至っていない、成人期の発達障がいの当事者3名（在宅、男性3名、20歳、21歳、30歳；平均年齢23.7歳）。もう1名はバイトが決まったため参加されなかった。今年度はグループワークに参加できそうな対象の方が少なかったため、3名での実施となった。

3. 実施頻度・場所

- ・実施頻度 ... 10/31~3/13 連続6回（1/M）実施
- ・実施場所 ... 長居障がい者スポーツセンター

4. 方法・内容

- 方法 ... グループワーク（GW）+ からだを動かす体験
- ・GW：ワークシート活用による学習、話し合い
 - ・からだを動かす体験：深呼吸+ストレッチ、軽スポーツ（Fホッケー、ボッチャなど）

GW 内容...

- 1回目 自己紹介、感情学習（よろこび・リラックス）
きっかけカード・楽しいことの本・コーピンググッズの紹介、好きなこと探し
- 2回目 感情学習（うれしい・リラックスした）（どんな時に・からだの状態）
脳内ホルモンの話、感情修復ツール（きっかけカード：好きなものの写真など）の作成・紹介
- 3回目 うれしいこと日記、感情学習（不安・怒り）（どんな時・からだの状態）
感情修復ツールの作成・紹介
- 4回目 うれしいこと日記、きっかけカードを使ってみた感想、不安を減らすのに役立つ活動、
感情修復ツールの作成・紹介
- 5回目 うれしいこと日記、感情修復ツールを使ってみた感想、
感情修復ツール（ツールボックス）の作成、からだを動かす体験
- 6回目 うれしいこと日記、感情修復ツール（ツールボックス）を使ってみた感想、
マイナス プラス変換ワーク

5. 効果検証

アンケート結果（毎回参加者全員に実施）など

参加者2名については、GW とからだを動かす体験の役立ち度・理解度の評価は、4段階評価で3（役に立った・わかりやすかった）または4（とても役に立った・とてもわかりやすかった）であり、からだを動かす体験の評価は両者ともに高かった。残り1名は、ワークショップへの参加は楽しい、次回も参加したい、との感想であるものの、GW については少しわかりにくい（2）との評価であった。

参加者の感想（抜粋）・経過

- ・久しぶりにからだを動かして良かった。 ・ボッチャがすごく楽しかった。 ・また参加したい。
- ・新たな対処方法を実践していきたい。

自立訓練施設利用中1名、職業訓練校今秋入校予定1名、障がい者雇用に向けて相談中1名

6. 今後の課題

- ・GW 参加対象者の確保（募集方法）
- ・GW の普及～実施希望がある支援者の参加・研修も考えていく

【平成29年度（予定）】

28年度と同様の手法により実施すると共に、GWの普及をめざし支援者の参加や研修の場を設定する予定。

発達障がいがある学生等の就労準備支援事業 実施報告

【平成28年度】

1. 目的

大学や専門学校を卒業後、社会との繋がりが持てないまま無業状態に陥り相談来所する成人期の方の中には、アルバイトなどの就業経験がなく、卒業後の進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例が多い。学生支援室や進路指導担当部との連携のもと、発達障がいがある学生が在学中に発達障がいの特性をふまえた講座や企業での実習体験を含む就労準備支援プログラムに参加することにより、就業イメージを持つこと、就労意欲を向上させること、各自に合った職業の選択を考えるきっかけとすることとし、困った時の対応や工夫を知り就労に向けた課題整理をおこなうきっかけとなることをめざす。また、学生支援者が発達障がいへの正しい理解と適切な対応への工夫を知り、障がい特性に配慮しながら進路指導等をおこなうための一助となるよう、また、結果として卒業後の無業状態を回避することを目指す。

2. 対象者

連携する大学等（大阪市立大学、他）に在学中の発達障がいがある学生、学生支援者

3. 実施期間・場所

- ・実施期間... 7月～2月（ガイダンス、自己理解等講座、企業見学・実習等）
- ・実施場所... 連携就労移行支援事業所（サテライトオフィス平野）、協力企業（仕事体験、企業実習）

4. 事業内容・実施経過・参加状況

<発達障がいがある学生等>

ガイダンス+先輩の体験談：「就労について語ろう会」7月、8月、12月実施

→ 学生8名（2回生×1、3回生×5、4回生×1、新卒×1）+支援者（就職課）1名参加

講座受講：「自己理解講座」「社会人マナー講座」「SST」など → 学生2名参加

「企業見学」 ・特例子会社×1社 → 学生2名+支援者（就職担当）1名参加

・一般企業（障がい者雇用）→ 希望者・企業の調整ができず未実施

「企業実習」 → 希望者なし

ふりかえり：「就労に向けた課題整理」 → 個別に実施

<学生支援者等>

・連携先大学教職員～大阪市立大学：学内の学生支援連携に向けて協力（学内職員対象講演会）

その他私立大学：社会資源（就労支援・相談機関等）や研修・講演会の情報提供

・専修学校等への出前講座「発達障がいの理解と支援」「社会資源の活用」等 → Coが実施

5. 事業実施までの調整等

6月～7月 連携先大学等への事業協力依頼（数か所の大学へ依頼予定）実施協議

連携先大学の学生支援担当職員・教員等への講座

【発達障がい基礎講座、体験談、社会資源（就労支援・相談機関等）】

連携先大学学生支援室による学内アナウンス、学内での対象者選定・紹介

仕事体験・企業実習受入れ先企業等の開拓

6. 学生参加者について

紹介内訳：大学からの紹介3名、エルム個別相談ケース5名

参加者の経過（抜粋）

- ・事例1：「語ろう会」参加→講座受講→企業見学→12月「語ろう会」参加→学内支援者と就職の方向性を検討→障がい者雇用を目指すことに ***学生支援室からの紹介、3回生**
- ・事例2：「語ろう会」参加→問題点を整理→職業訓練校（秋季：発達障がい）受験・入校 ***新卒**
- ・事例3：「語ろう会」参加後、休学・在宅→こことからだのWSに参加→退学 ***2回生**
- ・事例4：「語ろう会」参加後も一般職志望→4回生になり障がい者雇用も視野に就活中 ***3回生**

7. 今後の課題

学生：大学生活とのスケジュール調整なども含めた環境のもとで自己理解を深める仕組みが必要。

大学：「個別事例を通して」と、「組織的に」発達障がいの理解を促す、両方のアプローチが必要。

【平成29年度予定】

「語ろう会」 講座受講（自己理解） 企業見学 課題整理の全過程に参加可能となるよう、実施スケジュールや講座回数を見直すほか、学生支援者向け発達障がい理解を促す取組みを検討していく。

「専修学校等学生・進路担当者向け出前講座等」について

【取り組みの背景・意義】

近年、大学・専修学校を卒業後、進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例や、就職したものの職場環境や仕事に対応できず不適応を起こし離職するといった事例が増加しており、大学・専修学校等の学生支援担当等の支援者から、就職の前段階である在学中における支援を求める声が多くあがっている。また、このような方々が相談に訪れる就労支援に関連する福祉サービス事業所や相談支援事業所が多く開業されている中、相談や具体支援における質の担保が課題となっている。

これらを踏まえ、大阪市では、平成 27 年度から、大学・専修学校等に在学中の発達障がい(疑い含む)がある方及び学生支援担当者等に対し、自己理解や発達障がいの特性を踏まえた対応や工夫に関する講座や「しごと体験」等を実施し、後に訪れる就職活動や職場生活の中で生じる課題への対応方法を知る機会を提供する事業を実施した。

また、大学に限らず、専修学校等で発達障がいのある学生が在籍している学校等の教職員・家族等へも「発達障がい理解講座」「社会支援と活用」といった内容での「出前講座」を積極的に実施し、学校在籍中の段階から発達障がいの正しい理解、支援の工夫や社会資源利用ノウハウ等を広く発信し、学生への就労準備支援の一環として取組んだ。

【実施内容】 別紙 1 を参照

【受講者の感想・意見】

学生・家族

- ・地域の支援事業の枠組みを知ることができたと同時に、現場減額等でその空気感に触れることができ、これから自分が持つべきイメージが広がった。
- ・様々な様態の社会資源が複数あることを実感でき、体験実習などに参加してみようと思った。
- ・学校では「選べるだけの選択肢」の提示がなかった。多種多様な選択肢から、自分自身に合ったものを選べるという気持ちになれた。
- ・地域の支援者の横のつながりを間直に見ることができ、大変心強く思った。
- ・今まで、全ての事業所で同じサービス科目だと思っていた。選択が可能だと知った(保護者)。
- ・福祉事業所に勤めたいと思っていたので、たいへん参考になった。同時に知識やスキルを身に付ける必要性を感じた。

支援者

- ・地域で開業する他事業所の今まで知らなかった支援内容を知ることができた。
- ・これまでの取り組みや知らない知識が得られた。各事業所担当者の熱意や思いなどを聞け、勉強になった。
- ・それぞれの就職後のフォロー(定着支援)などがどのようなものか等をより詳しく聞きたかった。
- ・若い世代の力を感じるとともに、障がい者という視点だけでなく、次の世代の若者をどう育成するかが大切な視点だと思った。

別紙 1

種 別	会場等	参加者	来場数	内 容
一般教育 諸学校向け 講座 (普通高校) (定時制) (専門専修 学校等)	東朋高等専修学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	5 6	・社会資源活用や福祉サー ビス体験等の予約相談 ・SST などを用いたグルー プワーク 基礎講座(発達傾向のある 方への理解と支援方法)
	大阪医療福祉専門学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	4 2	
	大阪医専(出前講座)	在校生・教職員	3 5	
	四天王寺大学 (出前講座)	在校生・教職員	1 5	
	桃谷高校定時制 部 (出前講座)	在校生・家族(保護者会)・ 教職員(キャリアセンター担当者)	5 7	
支援学校 支援機関 向け 講座	天王寺区民センター (学校指定合同講座)	家族・地域学校教職員(在 校生)・地域支援事業者・ 地域行政関係者	7 8	・基礎講座(発達傾向のあ る方への理解と支援方法) ・地域支援機関担当者によ るサービス説明・相談 ・学生就活相談コーナー ・日中活動場情報の提供 ・余暇支援情報の提供
	東淀川区民センター (市民向け合同講座)		1 2	
	西成区民センター (学校指定合同講座)		7 8	
	大阪市職業指導センター (市民向け合同講座)		2 1 4	
在校生向け 講座	思斉支援学校 (出前講座)	在校生・教職員	1 0	・就職前マナー実践講座(面 接・身だしなみなど) ・履歴書作成のための基礎 講座(書き方・自己アピー ルの仕方など) ・SST などを用いたグルー プワーク(一般在校生向け就 活講座含む)
	東朋高等専修学校 (出前講座)		1 5	
	市立中央授産場 (出前講座)		8	
	Give&Gift(移行支援)		2 7	
	きょうばし(移行支援)		1 3	
	せふいろと(継続A型)		2 4	

セミナー等講演会・障がい者就労支援フェスタ実施状況について

【目的】

講演等を通じ、発達障がいに関し、より多くの企業担当者・関係機関・支援者等に、正しい理解や支援の工夫等の支援ノウハウを広く発信し、理解を深めていただくとともに、支援地域における支援ネットワークの構築を目指す。

派遣先	対象者	参加者数	内 容
発達障害者雇用支援連絡協議会 (大阪障害者職業センター主催の会議)			協議会委員として参加(年2回)
職場適応援助者 養成研修	医療機関のケースワーカー、福祉サービス事業所の支援員	40	講師(年2回) 発達障がい者の雇用・支援事例の検討
医療福祉学院 (作業療法士学科)	作業療法士科2年生	30	講義 「発達障がい者の就労支援の実際」
日本精神神経科診療所協会 児童青少年問題関連委員会	精神科医師、小児科医師、 心理士、教員、 保健師	200	シンポジウム 「発達障がいを抱える子どもたちのゆくえ」
大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進担当(教育相談・研修)主催講座	市内全学校園の特別支援教育コーディネーターのうち、 校園長推薦を受けた受講希望の教員	50	発達障がい専門講座 「就労支援とキャリア教育について」
障がい者就労支援フェスタ		190 (49機関)	シンポジウム 「企業の求める人材とは」 シュウカツノートの配布

【受講者の感想・意見】

- ・具体的な事例と、そこから得られたコツが明確であり、具体的なイメージがしやすかった。現場に活かせる。
- ・どんなことが就労のキーポイントになるのか、考えるきっかけがもらえました。
- ・中学校のクラスの中で発達障がいの子供たちを対応している。今、目の前のことだけでなく未来の就職についても意識する必要性を強く感じた。しかしやはり一番の難しい点は親の理解であると思っている。
- ・小学生から高校生を対象に支援している。卒業の後の見通し、就労についての知識が無いと適切な支援が難しいことがある。特に就労に当たり何が困難となるのか聞いたことが、今後につなげられそうです。
- ・社会の中の発達、試行錯誤、連携、明るく支える、いろんなことを教えてもらいました。
- ・進学や就職の際、発達障がいについて当人が理解し、支援を求められるよう学校教育で身につけて行かなければならないと思った。
- ・各機関がリレーを行いながら障がいを抱える人へのサポート、治療を行って行ければと思いました。

地域就ポツとの事例・情報共有勉強会実施状況（平成 28 年度）

実施月	情報共有・検討内容	対象
5月	コーディネーター事業の内容とその活用（周知）	大阪市内就ポツ7センター
6月	休職と復職を繰り返すケースの対応（医療、職場、支援機関との調整）	大阪市内就ポツ7センター
7月	障がい者手帳申請前に使える就労支援について	大阪市内就ポツ7センター
8月	威嚇・暴言・対人依存傾向のあるケースの対応	大阪市内就ポツ7センター
9月	困窮者支援との連携について	大阪市内就ポツ7センター
10月	会社に不満を訴えるケースへの対応	大阪市内就ポツ7センター
11月	家族に介護が必要になったケースへの対応	大阪市内就ポツ7センター
12月	学生への支援（家族に課題あり）卒業後ひきこもりにならないよう、学校、医療、区役所と連携し就労支援につなぐ動きをしているケース	大阪市内就ポツ7センター
1月	学生への支援（障害者支援を拒否）わかものハローワークとの連携事例	大阪市内就ポツ7センター
2月	研修報告 シンポジウムでの発表内容の報告	大阪市内就ポツ7センター
3月	この一年の相談傾向について報告	大阪市内就ポツ7センター

サテライトオフィス平野・エルムおおさか

就労について 語る会

シューカツについての悩みを
みんなで話し合いませんか？

自分に合った「働く」をめざして

- ・就労中の“に体験談を話していただきます。
企業見学、自己理解セミナー等、インターン
シップのプログラム内容をご紹介します。

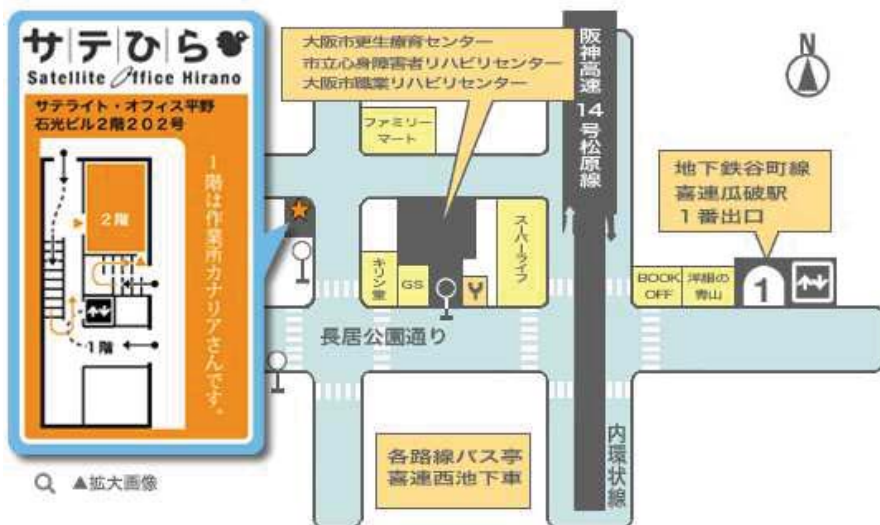
時

2016年7月7日(水)
午後5時～6時半

場所

サテライトオフィス平野

大阪市平野区喜連西4丁 7-16 光ビル2F
地下鉄谷町線喜連瓜破駅下車 1番出口より徒歩5分



参加希望の“は事前にご連絡ください。

対象：

発達障がい
のある“学
”の“

定員：10名

参加費：無料

連絡先：

エルムおおさか

TEL.

06(6797)

6931

FAX.

06(6797)

6934

E-mail.

inoue@fukspo.org

担当：

井上 間宮 鹿野

シューカツ準備しませんか?!

● 発達障がいのある学生を対象にしたインターンシップ事業 ●

こんな人は一度試してみませんか

- 仕事に対するイメージがわからない
- 「シューカツ」で何をしたらよいかわからない
- 特に働きたいとは思わない

セルフチェックしてみましょう

- エントリーシートや履歴書をどうやって書いていいかわからない
- 自己アピールができない
- 面接が最大の苦手

働くことを考えてみよう

～自分に合った「働く」を目指して～

- 1 具体的に自分の特徴を知り、工夫と適職を考えるきっかけとする
- 2 実際の体験を通して、「好き」と「できる」の違いや「得意なこと」「できるけれど持続は苦手」など、自分を知る
- 3 企業見学会に参加し、働く場面を見てイメージをつくる
- 4 企業で実際に就労体験をしてみる
- 5 「いろいろな働き方」「支援機関」について情報提供→相談しながら計画的に「シューカツ」する



選べるグループワーク 10 種

月曜日	10:00～12:00	① ビジネスクラス	参加者同士の会話を通じて社会常識を深めたり、社会経験の幅を広げます。
	15:10～17:00	② 会話力UP	話す、聞くを練習し、会話のきっかけをつかむことにより会話への自信を深めます。
火曜日	10:00～12:00	③ 顔の表情 (FT)	表情から感情を読み取るトレーニング。目・鼻・口・しわ・まゆから読み取る練習を行います。
	13:00～12:00	④ 論語を読もう	論語の教えを現代流に解釈し、情報交流しながら自らの思いを五、七、五で表現します。
	15:10～16:00	⑤ ビジントレーニング	ものを見る練習を通し、視る力を鍛え、集中力や情報処理能力を高めます。
水曜日	10:00～12:00	⑥ 感情のグループワーク	プラスの感情とマイナスの感情について話し合う。マイナス感情を生じた時の対応方法について話し合い、望ましい対応方法を取得します。
	15:10～17:00	⑦ SST	場面に応じたふるまい方を考え、実際に行動してみる講座です。
木曜日	15:10～17:00	⑧ マナー講座	基本的なビジネスマナーについて学ぶ。ロールプレイや発表を交え、皆で話し合いながら授業を進めていきます。
金曜日	15:10～16:40	⑨ 自己理解セミナー	これからの自分のキャリアを自分で考えるため、様々なワークを通じて自己理解を深めていきます。
	(未定)	⑩ ストレスマネジメント	身体を動かすことでマイナスの感情を解消する方法を学びます。

※原則として毎月第1週目に開催。行事等により、休講になる場合もあります。

お問い合わせ先 (社福) 大阪市障害者福祉・スポーツ協会
大阪市発達障がい者支援センター エルムおおさか

〒547-0026 大阪市平野区喜連西6-2-55
TEL: 6797-6931 FAX: 6797-6934
E-mail: elminfo@fukspo.org 担当者 (井上・間宮)

裏面に募集要項・申し込み方法等記載しています

募集要項

対象

発達障がいの診断を受けている
大阪市在住の学生 ※一回生からご利用可能です

企業
見学会

5社（予定）

定員

10名

企業
実習

3日間（予定）

場所
（予定）

大阪市長居障がい者スポーツセンター
サテライト・オフィス平野

費用

無料

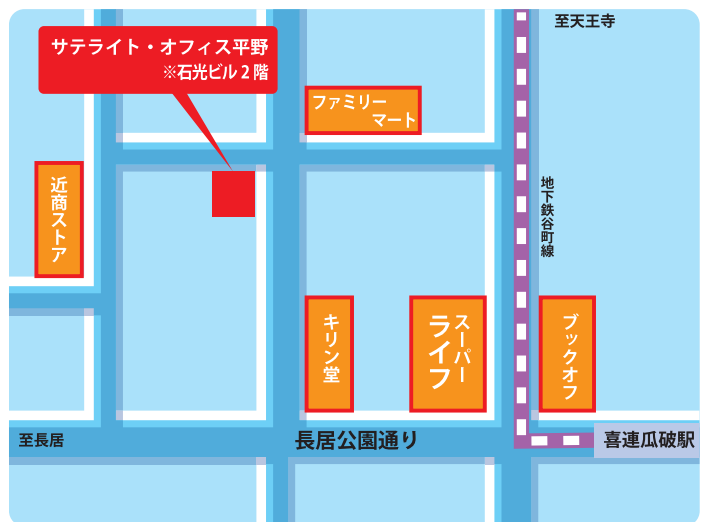
アクセスマップ

大阪市長居障がい者スポーツセンター



- 地下鉄御堂筋線「長居駅」①番出口から北へ徒歩5分
- JR阪和線「長居駅」から東へ徒歩7分
- 市バス「地下鉄長居」下車北へ徒歩7分

サテライト・オフィス平野



- 地下鉄谷町線「喜連瓜破駅」①番出口から徒歩約8分
- 市営バス「喜連西池バス停」徒歩約5分

申し込み（申込はFAXまたはEメールにてお願いいたします）

FAX 06-6797-6934 E-mail elminfo@fukspo.org

氏名			
住所	〒		
TEL		E-mail	
大学		学部	
備考			

しゅうしょくかつ どう おう えん

就職活動応援ガイドブック



はたら せいろ
働くイメージを整理しましょう

じぶん し
自分でできることを知ろう

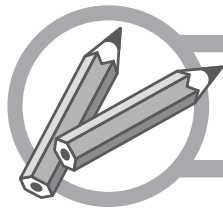
じぶん し
自分の障がいを知ろう

けいれき せいろ
経歴を整理しよう

めんせつ い
面接に行こう

おおさか ししょう しゃしゅうぎょう せいかつ しえん
大阪市障がい者就業・生活支援センター

しゅうしょくかつどう さんこう しりょう
就職活動の参考資料です。



はたら せいり
働くイメージを整理しましょう

しごと
どんな仕事がしたいですか

よなか しごと きぼう しごと
世の中にはさまざまな仕事があります。あなたの希望する仕事はなんですか？



せい そう
清 掃



こうりてん しなだ
小売店(品出し)



そう こない ざぎょう
倉庫内作業



せい ぞう
製 造



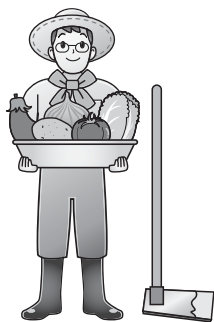
じ む
事 務



しょくひんかんけい
食品関係



かい ご
介 護



のう ぎょう
農 業



せつきやくぎょう
接客業

希望する労働条件は？

あなたが希望する労働条件(勤務時間や給料など)を書いてみましょう。

●労働時間

勤務時間	:	~	:	(1日 時間)
勤務日 (○をつけましょう)	週日(固定・シフト制)	月・火・水・木・金・土・日・祝		
休日 (○をつけましょう)	週日	月・火・水・木・金・土・日・祝		

●通勤について

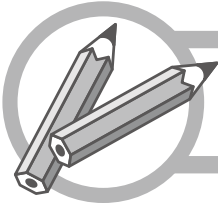
通勤時間	家から 時間 分程度	通勤手段 (○をつけましょう)	電車・バス・自転車・徒歩
------	------------------	--------------------	--------------

●収入・雇用形態

収入	チェックを入れて記入しましょう(※最低賃金()円) <input type="checkbox"/> 時給 円以上 <input type="checkbox"/> 月給 円以上 希望するほうに○をつけましょう 交通費 あり・なし 賞与 あり・なし 昇給 あり・なし
雇用形態	チェックを入れて記入しましょう <input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 契約社員 <input type="checkbox"/> パート <input type="checkbox"/> その他(派遣など)
	チェックを入れて記入しましょう 社会保険 <input type="checkbox"/> 雇用保険 <input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 厚生年金 (働きはじめて加入することによって病気やケガや失業中の保証をしてくれます)

働く場合、あなたがゆずれない条件はなんですか？ 優先するものから順番に数字を書き入れましょう。

() 労働時間	() 通勤時間	() 勤務地	() 休日
() 給料	() 職種	() 雇用形態	() 社会保険



自分でできることを知ろう

よくあてはまるものに○、あてはまらないものに×をつけてそれぞれ合計点数を記入してみましょう。記入した点数をチャートに書き込み、線で結んでグラフを完成させましょう。

A コミュニケーション力

	項目	1回目	2回目	3回目
		日付(/)	日付(/)	日付(/)
1	人の話を聞くことができる			
2	自分の気持ちや考えを他の人に伝えることができる			
3	わからないことを他の人に聞くことができる			
4	たずねられたことに対してこたえることができる			
5	自分の困っていることや悩みを相談できる			
○の数を書きましょう ➡		コ	コ	コ

B 集中力・持続力

	項目	日付(/)	日付(/)	日付(/)
1	作業を最後までコツコツと取り組むことができる			
2	同じことを繰り返し行うことができる			
3	休憩時間で気分転換ができる			
4	指示された量をこなすことができる			
5	周りのことを気にせず集中して作業に取り組むことができる			
○の数を書きましょう ➡		コ	コ	コ

C スピード・工夫・量・正確性・質

	項目	日付(/)	日付(/)	日付(/)
1	周りの人のスピードと合わせるができる			
2	指示された手順で作業ができる			
3	不良品や間違いに気づくことができる			
4	作業効率を考えて工夫することができる			
5	指示された品質を維持することができる			
○の数を書きましょう ➡		コ	コ	コ

D

整理・優先順位・臨機応変

	こ 項 目	かいめ	かいめ	かいめ
		1 回 目	2 回 目	3 回 目
		日 付 (/)	日 付 (/)	日 付 (/)
1	さぎょうないよう てじゆん か たいあう 作業内容や手順が変わっても対応ができる			
2	ゆうせんじゆんい と く 優先順位をつけて取り組むことができる			
3	せいり せいとん 整理整頓ができる			
4	たしや き さいて つた 他者から聞いたことをメモにとり相手に伝えることができる			
5	し き ま あ さぎょう 締め切りに間に合うように作業ができる			
○の数を書きましょう ➡		コ	コ	コ

E

体力・健康管理

	こ 項 目	かいめ	かいめ	かいめ
		1 回 目	2 回 目	3 回 目
		日 付 (/)	日 付 (/)	日 付 (/)
1	たいりよく じしん 体力に自信がある			
2	はたら たいちようかんり 働くための体調管理ができる			
3	からだ うご す 身体を動かすことが好き			
4	あさはや さぎょう 朝早くても作業をこなすことができる			
5	あつ さむ たいあう 暑さ寒さに対応ができる			
○の数を書きましょう ➡		コ	コ	コ

F

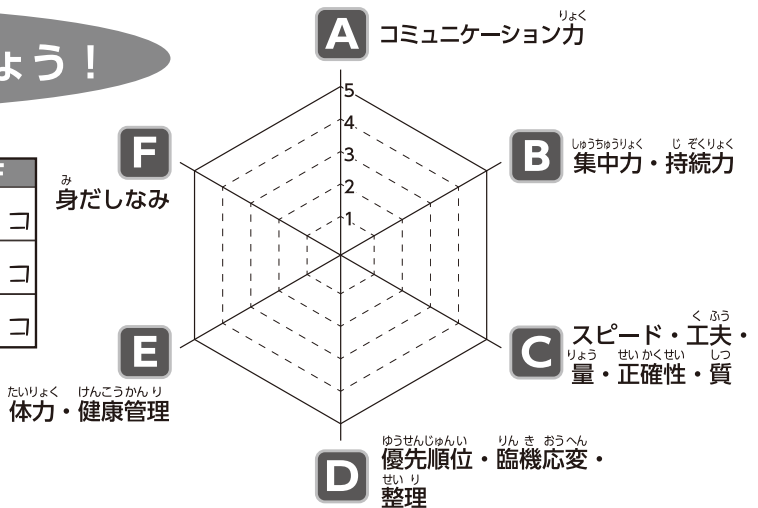
身だしなみ

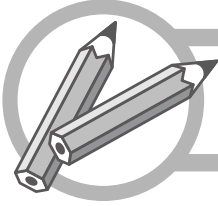
	こ 項 目	かいめ	かいめ	かいめ
		1 回 目	2 回 目	3 回 目
		日 付 (/)	日 付 (/)	日 付 (/)
1	まいにち ふろ はい 毎日お風呂に入る			
2	まいにち は みか 毎日歯を磨いている			
3	まいにちかあ あら 毎日顔を洗えている			
4	かみ とと 髪を整えている			
5	まいにち ふく き 毎日きれいな服を着る			
○の数を書きましょう ➡		コ	コ	コ

かん せい
チャートを完成させましょう！

●集計

記入日	A	B	C	D	E	F
1	コ	コ	コ	コ	コ	コ
2	コ	コ	コ	コ	コ	コ
3	コ	コ	コ	コ	コ	コ





自分の障がいを知ろう

● 障がいの種別・診断名

● 手帳の種類

● いつ手帳を取得したか

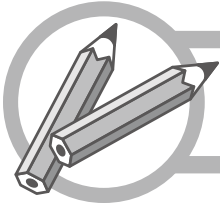
● 自分の障がいの特徴

● 会社に配慮してほしいこと

● 気分が良いとき

● 悪いとき

● 困ったことがあったときどうしていますか



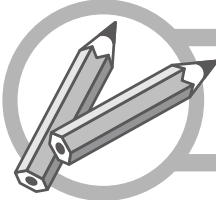
経歴を整理しよう

学 歴	ねん 年		ちゅうがっこうそつぎょう 中学校卒業
	ねん 年		にゅうがく 入学
	ねん 年		そつぎょう 卒業
	ねん 年		にゅうがく 入学
	ねん 年		そつぎょう 卒業

職 歴	かいしゃめい 会社名		きかん 期間	
	しごと していた仕事			
	やめりゆう 辞めた理由			
	かいしゃめい 会社名		きかん 期間	
	しごと していた仕事			
	やめりゆう 辞めた理由			
職 歴	かいしゃめい 会社名		きかん 期間	
	しごと していた仕事			
	やめりゆう 辞めた理由			

訓 練	くんれんばしょ 訓練場所		きかん 期間	
	くんれんないよう 訓練内容			
	くんれんばしょ 訓練場所		きかん 期間	
	くんれんないよう 訓練内容			
	くんれんばしょ 訓練場所		きかん 期間	
	くんれんないよう 訓練内容			

支援してもらっているところ



面接に行こう

面接時の身だしなみについて紹介します。身だしなみもあなたをアピールするポイントです。当日は清潔感のある服装や、髪型を心がけましょう。

男性

髪型
前髪は目にかからない程度の長さ
髪の色も明るい色は避ける

顔
きれいに顔を洗い、
歯を磨く

スーツ
シミやしわなどないかチェック

体におい
前日は必ずお風呂に入って
清潔感を保つ

靴下
色や柄が派手なものは
避ける (黒・紺系)

ひげ
あごや口元に剃り残しがないか
チェック

ネクタイ
派手な色や柄はさげよう

服装
基本のスタイルは、スーツにネクタイ
履歴書に貼った写真と同じ服装がよい

かばん
履歴書など A4 サイズの書類が
入るもの
色は黒か茶で無地

靴
革靴(黒か茶)が好ましい
汚れなどチェック

チェックしよう!

所持品のチェック

履歴書

職務経歴書

その他の所持品

かばん・時計・筆記用具・
面接ふりかえりシート など

女性

髪型
前髪は目にかからない長さ
長い髪を結ぶときは自立たないゴム
(黒・茶・紺)

メイク
自然なメイク

服装
基本のスタイルはスーツ
スカートでもパンツでもよい

爪
爪はきれいに、そろえて切る

靴
ヒールの高いものや派手な色
の靴は避ける
色は黒か茶が好ましい

かばん
履歴書など A4 サイズの書類が
入るもの
色は黒か茶で無地

ストッキング
素足で靴を履かない
ストッキングの色は
ベージュ系

所持品のチェック

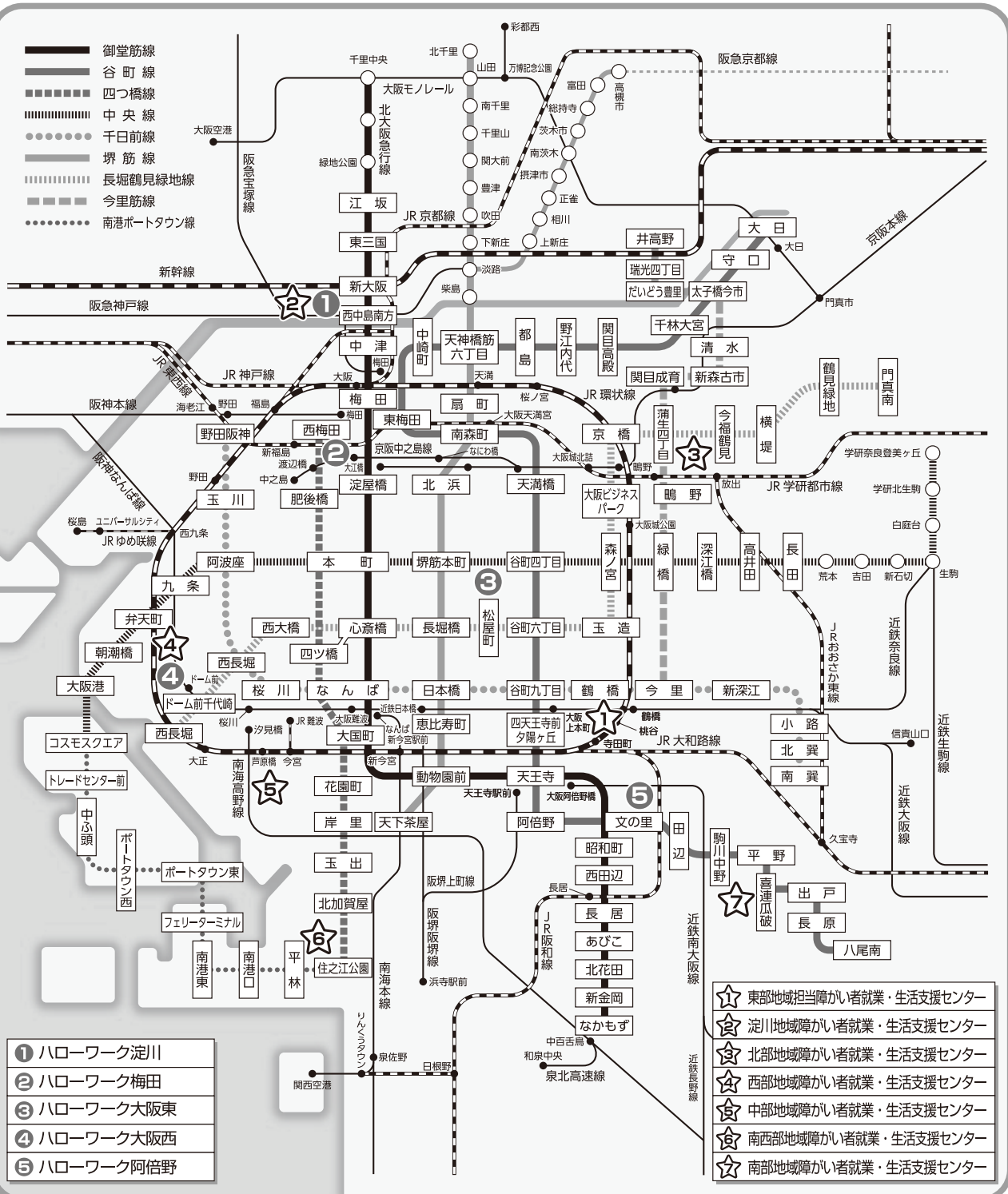
履歴書

職務経歴書

その他の所持品

かばん・時計・筆記用具・ストッキング予備
面接ふりかえりシート など

おおさか し ないろ せんず
大阪市内路線図



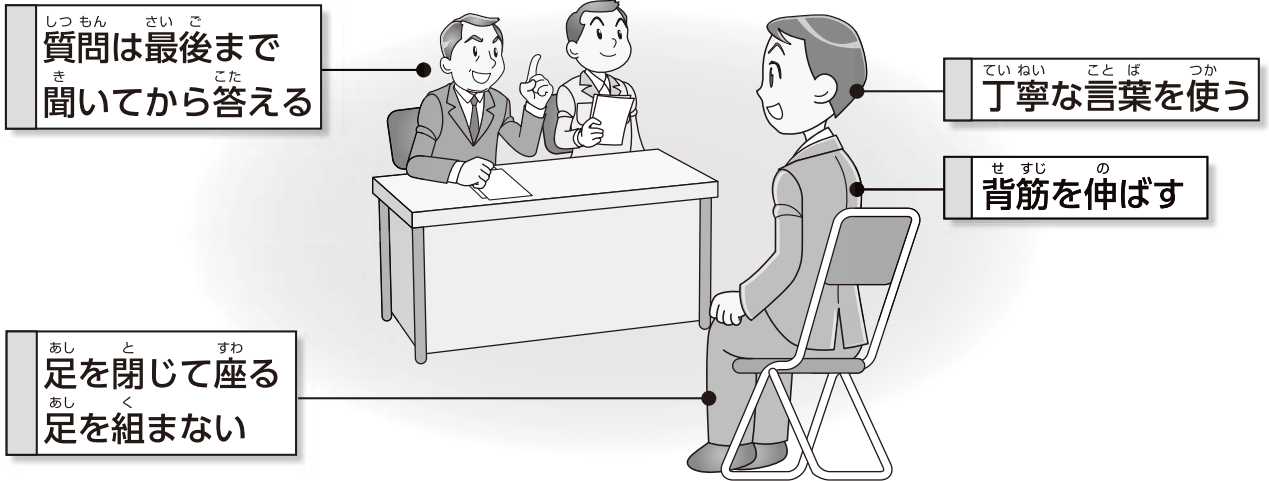
もよえき
最寄り駅

いえ もよえき じかん
家から最寄り駅までの時間

ぶん
分

面接を受ける姿勢

面接中は以下のことに注意しましょう。



面接でよく聞かれるおもな質問をまとめました。面接前に答えを書いておきましょう。

【名前・年齢は？】

名前	歳
----	---

【住所と最寄駅は？】

〒	駅
---	---

【通勤方法は？】

【通勤時間は？】

--	--

【志望した動機は？】

【障がいの種別と手帳の種類は？】

【前職はどんな仕事をしていたか？】

ぜんしよく りゆう
【前職をやめた理由は？】

しごとじゆう どりよく
【仕事上でこれまで努力してきたことは？】

とくい さぎょう しごと
【得意な作業・仕事は？】

ちやうしよ
【あなたの長所(アピールポイント)は？】

たんしよ にがて
【あなたの短所(苦手なこと)は？】

さいご しつもん
【最後に質問は？】

- 前職の悪口を言わない(雰囲気合わなかった・上司が嫌いだったなど)
- わからない質問には、「もう一度お願いします」と素直に聞き直しましょう
- 質問にうまく答えようとするとかえってかたくなってしまいます。リラックスして素直な気持ちで答えましょう

めんせつ 面接ふりがえりシート

かいしゃめい
会社名

ねん がつ にち
年 月 日

めんせつかん
面接官
めい
名

しごとないよう
●仕事内容

いっしょにいっしたひと
●いっしょに行った人

しつもんないよう
●質問内容

こたないよう
●答えた内容

かんそう はんせいてん
●感想・反省点

--

けつてい れんらく
決定の連絡について

にちいない
日以内
でん わ しょ るい た
電 話 ・ 書 類 ・ その他 ()